

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	治療論 I (薬理学)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	赤木 正明	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
薬理の目的、薬物の定義、薬物療法の原則や薬物の歴史を学び、更に薬物が体内に入ってからメカニズムや主作用・副作用を学ぶ						
演習参加状況、レポート課題提出状況、小テスト、並びに筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎 薬理学 医学書院						
《授業外における学習方法》						
インターネットや他業者の教科書参照						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	I 薬物の人体へのはたらきと薬物の生態側の対応を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書・参考書で予習・復習する	
	各コマにおける授業予定	I 薬物を用いて治療する薬物治療の医療のなかでの意味 1)薬による病気の治療 2)薬としての基本的性質 3)薬の使用目的				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	I 薬物の人体へのはたらきと薬物の生態側の対応を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書・参考書で予習・復習する	
	各コマにおける授業予定	4)薬物療法における看護師の役割 誤薬の防止・治験効果の確認 副作用に関する有害作用の発見と防止・服薬に関する患者指導 患者家族への説明 医療による薬害(HIV・ウイルス性肝炎・クロイツフェルト・ヤコブ病)5)薬専法・薬の管理取り扱い・毒薬・劇薬の取り扱い				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	2 身体の中での薬のはたらき、作用を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書・参考書で予習・復習する	
	各コマにおける授業予定	1)薬理作用の基本形式 促進と抑制作用 直接と間接作用 局所と全身作用 主作用と副作用(有害事象)2)薬の治療域と作用点 薬物相互作用 アナフィラキシーショック				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	II 薬の投与経路を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書・参考書で予習・復習する	
	各コマにおける授業予定	1. 薬の投与経路(経口・注射・吸入・外用) 1)吸収2)分布3)薬物の代謝 4)排泄 5)生物学的半減期 6)薬物の血中濃度と薬物血中濃度モニタリング				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	III 医薬品の安全対策について説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書・参考書で予習・復習する	
	各コマにおける授業予定	1 看護業務に必要な薬の知識 1)薬に関する単位 2)混合の可否 3)禁忌4)保存方法5)薬理効果に影響する要因6)医療過誤(誤薬)				

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	IV 主な薬物の作用と副作用を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	1. 抗菌薬 2. 抗ウイルス薬・抗真菌薬		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	IV 主な薬物の作用と副作用を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	3. 抗がん薬		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	IV 主な薬物の作用と副作用を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	4. 心臓に作用する薬 5. 狭心症治療薬 6. 降圧薬・昇圧薬		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	IV 主な薬物の作用と副作用を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	7. 利尿薬の種類		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	IV 主な薬物の作用と副作用を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	8. 血液に関する薬 9. 免疫抑制薬		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	IV 主な薬物の作用と副作用を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	10. 副腎皮質ステロイド 11. 糖尿病治療薬		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	IV 主な薬物の作用と副作用を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	12. ホルモン補充療法・抗ホルモン療法		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	IV 主な薬物の作用と副作用を説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	13. 中枢神経作用薬 14. 麻薬と麻薬性鎮痛 15. 非ステロイド性抗炎症薬 16. 救急時に使用のおもな医薬品		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 薬品の表示・毒薬・劇薬の薬を検索し、表示し説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	①座薬・舌下薬・貼付薬の方法を実施する ②薬剤の単位を理解し処方箋・正しい用法方法を読み取る ③キシロカインその他の添付書を読みとる		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	2. 薬の投与経路について体内をどのように巡っていくか薬の投与経路・血中濃度の推移調べ説明することができる	系統看護学講座 専門基礎 薬理学	教科書で予習・復習する
		各コマにおける授業予定	④薬剤希釈の計算と消毒液をつくる 重量・容量(液量)の単位計算 液状・粉状注射液指示量の換算 小児薬液量の希釈		